

デーリー東北
2018年（平成30年）6月3日（日曜日）（18）

工業技術向上など
研究成果を報告

八工大・八高専
准教授ら12組

青森県工業技術教育振興会から昨年度、研究助成を受けた若手研究者の成果報告会が5月31日、八戸工業大で開かれ、同大と八戸高専の准教授や助教らが研究成果を報告した。

同会では▽県内の工業技術に関する研究と教育の振興を図ること▽地域社会の科学技術や産業の向上を目指すこと―を目的に、大学や工業に関する教育機関に助成している。

この日は12組が参加。この



研究成果を発表した報告会

うち、同大基礎教育研究センターの講師大室康平さんが、野球などバッティングする競技での未経験者の動作と、指導方法について研究した結果を発表した。

経験者と未経験者の打撃を比較する形で、両者のインパクト位置の違いをデータで示し、未経験者ほどぶれる分析結果を紹介。映像を活用して自身のフォームを確認し、悪い箇所を修正しながら、良い動作を身に付けていく必要があるとした。

（佐藤雄）